

社会活動報告書

[活動期間 2017.1.1-12.31]



SHIMANO

社会活動報告書 発刊にあたって	03
-----------------------	----

企業価値の向上を目指して	04
--------------------	----

こころ躍る製品を
内部統制システム
シマノを支える人づくり（社員教育・レクリエーション）

飲びの高揚	10
-------------	----

SHIMANO SQUARE
自転車博物館 サイクルセンター
LIFE CREATION SPACE OVE（オーブ）
Shimano Cycling World
自転車と暮らしの情報ツール「Cyclingood」
フィッシング・カフェ プロジェクト＆シマノTV
シマノレーシング
その他の活動

利用環境の改善と保全	18
------------------	----

環境と人に配慮したシマノヨーロッパ新社屋
シマノグリーンプラン
環境負荷低減への取り組み
身近な環境に対する取り組み

信頼の構築	26
-------------	----

安全で楽しい自転車利用を目指して
子供たちの教育支援
義捐活動
企業市民として

社会活動報告書を読んで	34
-------------------	----

チームシマノ社会活動方針	35
--------------------	----

社会活動報告書 発刊にあたって



2017年は、世界経済が総じて活況を呈すとともに、文化活動やスポーツの分野では国を越えて喜びを分かち合うなど、希望の感じられる一年でした。
その反面、世界各地で人知の及ばぬ自然災害や、紛争・対立が続発し、社会の分断が懸念された年でもありました。

文化や思想の壁を越えた対話が何より求められる今、
自転車や釣りという世界共通の言葉で、社会に感動と安らぎをお届けすること。
それが「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」
という当社の使命に基づく、大切な役割であると考えております。

お蔭さまで、当社は創業100周年まで、あと3年を残すばかりとなりました。
急速に進展するデジタルイノベーションにも迅速・的確に対応しながら
日本発の開発型製造業として、これからも創意に富んだ精緻なものづくりを
追求するとともに、微力ながら誠心誠意、身の丈に合った社会貢献に取り組んでまいります。

そして、豊かで新しい自転車文化・釣り文化を創造・提供する
「価値創造企業」であり続けるよう、さらなる努力を続けてまいります。

この報告書が私どもをご理解いただく一助となれば幸いです。

株式会社シマノ
代表取締役社長
島野 容三

企業価値の向上を目指して

こころ躍る製品を

当社の事業活動の基本は、「こころ躍る製品」を社会に提供することです。
 使いやすく快適に走行できる自転車部品、テクノロジーと感性が融合した釣具はもとより、
 ウェアやシューズなど、それぞれの世界をより楽しく演出する製品をお届けすること。
 そして自然とともに楽しむサイクリング、フィッシングの素晴らしさをお伝えすることで、
 お客様により豊かなライフスタイルを提案していきたいと考えています。

自転車部品事業

■ ロードレーシングコンポーネンツ 「SHIMANO ULTEGRA R8000シリーズ」

SHIMANO ULTEGRA R8000シリーズは、過酷なトップロードレースの世界で鍛え上げられた DURA-ACE R9100シリーズの最新技術を継承。正確な変速と安定したブレーキングがもたらすストレスのない操作性が、サイクリストたちのライディングパフォーマンスをさらに引き上げます。



SHIMANO ULTEGRA R8000シリーズ

■ スポーツバイク用電動アシストユニット 「SHIMANO STEPS E8080シリーズ」

2014年にヨーロッパで発売した「SHIMANO STEPS」が2017年日本向けに開発され、話題を呼びました。SHIMANO STEPSは、スポーツバイクそのままの乗り心地を重視し、滑らかで均一なアシストにより、より快適なサイクリングを楽しんでいただけます。



SHIMANO STEPS E8080シリーズ

■ iF Design Awardを 「DURA-ACE R9100シリーズ」が受賞

全世界の工業製品などを対象に、優れたデザインを選定するドイツの「iF Design Award 2017」において、シマノの自転車部品「DURA-ACE R9100シリーズ」が受賞しました。



DURA-ACE R9100シリーズ

■ グッドデザイン賞を 「SHIMANO DEORE M6000シリーズ」が受賞

良いデザインを表彰することで、社会全体を豊かにしていくことを目的としたグッドデザイン賞（公益財団法人日本デザイン振興会主催）を「SHIMANO DEORE M6000シリーズ」が受賞しました。



SHIMANO DEORE M6000シリーズ

釣具事業

■ EFTTEX 2017で Best New Reel 賞を受賞

ヨーロッパで注目度の高い釣具ショー EFTTEX (European Fishing Tackle Trade Exhibition) が、ハンガリーの首都ブダペストで開かれました。36回目となる今回は40近い国と地域から231もの企業・団体が参加し、それぞれ新製品やフラッグシップモデルなどを展示。シマノの「TWIN POWER XD」がリール部門で2017年度「Best New Reel 賞」を受賞しました。

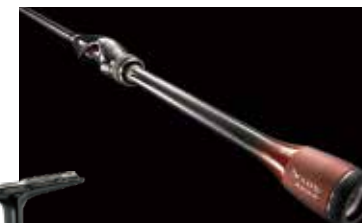
「Best New Reel 賞」を獲得した
TWIN POWER XD



■ グッドデザイン賞を「Soare XTUNE」が受賞

公益財団法人日本デザイン振興会が主催する2017年度グッドデザイン賞を受賞しました。この賞は良いデザインを表彰することで、社会全体を豊かにすることを目的としています。

Soare XTUNE



■ ICASTにおいてシマノ製品が受賞

世界最大級の釣具展示会 ICAST (International Convention of Allied Sportfishing Trades) がアメリカのフロリダ州で開催され、200以上の企業が世界中から出展。シマノの「SUSTAIN」が「Best Saltwater Reel 賞」を、「CURADO K」が「Best Freshwater Reel 賞」を受賞しました。

「Best Saltwater Reel 賞」を獲得した
SUSTAIN



ライフスタイル ギア事業

■ ソフトグッズのハイエンドシリーズ「S-PHYRE」

プロレーサーをはじめとするトップライダーをターゲットとしたシューズやウェアなどのソフトグッズにおいて、妥協のない最高の機能と洗練されたデザインを追求するのが「S-PHYRE」シリーズです。前年度のシューズ RC9に引き続き、2017年度は、レーシングスキンスーツ、ウインドレジスタントジャージ、ウインターグローブなどのウェアがデビューしました。ライディング時のさまざまな条件下においても最適な体感温度を維持するためのテクノロジーが随所に採用されています。

エスファイヤー



ウインターグローブ

ウインドレジスタントジャージ

レーシングスキンスーツ

内部統制システム

企業価値の向上を目指す上での基礎として、経営・業務の適正を確保する体制が内部統制システムです。
今回、2017年4月に施行した「行動規範（コード・オブ・コンダクト）」、
同月に改訂した「コンプライアンスガイドライン」についてご紹介します。

■「行動規範」の策定

健全な事業活動を通じてグローバル社会へ、その一員として貢献し、お客様、株主、取引先をはじめとしたステークホルダーからの信頼を高めるため、一人ひとりが日々の事業活動で遵守すべき方針として、2016年12月に「行動規範」（「法令と倫理観」、「事業活動」、「環境保全と社会貢献」、「職場環境」の4テーマ15原則から構成）を策定し、2017年4月に施行しました。
本規範は、全世界のシマノ従業員のコンプライアンスの共通理念を具体的な行動準則としてまとめ、グローバル社会の企業市民として、私たち一人ひとりが共有すべき価値基準を定めたものです。

行動規範（条文のみ抜粋）

1 法令と倫理観

- 1-1 世界各国の法令を遵守するとともに文化・慣習を尊重します。
- 1-2 相談窓口等の相談機関を適切に活用し、相談機関を利用したことを理由とする不利益な取扱いを禁止します。
- 1-3 反社会的勢力とは関係を一切持ちません。

2 事業活動

- 2-1 安心・安全で信頼されるサービスと製品の提供に努めます。
- 2-2 公正かつ自由な競争による取引を行います。
- 2-3 安全保障貿易管理を徹底し、国際的な貿易ルールを遵守します。
- 2-4 政治、行政、取引相手を含む関係先と健全で正常な関係を保ちます。
- 2-5 当社の知的財産を尊重するとともに他者の知的財産を尊重します。また、不公正な競争行為を禁止します。
- 2-6 当社の資産を適切に管理し、使用します。
- 2-7 正確な財務報告及び適時に情報開示を行うとともにインサイダー取引を禁止します。
- 2-8 個人的な利益のために当社に損失を与えるような行動をしません。

3 環境保全と社会貢献

- 3-1 地球の環境保全活動に取り組みます。
- 3-2 企業市民として地域社会に貢献します。

4 職場環境

- 4-1 多様性を理解し、差別とハラスメントを禁止します。
- 4-2 雇用の健全性を確保し、安全で健康な職場環境を構築します。

行動規範の詳細についてはシマノの企業サイトにも掲載しています

■コンプライアンスガイドラインの改訂

グローバル社会の企業市民として世界共通の倫理観を持ち、社会の信頼に応えるために守っていくべきルールや規範の手引きとして、「行動規範」の策定に先立ち、2013年、国内拠点に対して「コンプライアンスガイドライン」を展開しました。その後、事業活動を規制する法令等の施行や改正、企業の姿勢のみならずそこで働く従業員の行動もより一層社会的責任を意識することが重要であると考え、2017年4月の「行動規範」の施行にあわせて「コンプライアンスガイドライン」の改訂を行いました。
内部統制システムを有効に機能させる体制の一つとして、全世界のシマノ従業員への「行動規範」の周知浸透をはじめとしたコンプライアンスに係る啓蒙活動を継続して行うとともに、誠実に事業活動を全うすることに努めます。

2017年4月に改訂された
「コンプライアンスガイドライン」



コンプライアンス講習会

シマノを支える人づくり——社員教育

Global 新入社員研修

新たに加わった従業員に対して、当社の歴史や企業理念を理解してもらう新入社員研修を行っています。シマノの全世界共通の理念のもと、考え、行動するために、講義に加え自転車実走や釣りの体験も含んだカリキュラムを実施。2017年は、シマノ昆山でも大卒者を対象に新入社員研修を行いました。



自転車通勤キャンペーン '14年スタート

シマノチェコでは、生活環境の向上を目指すチェコの団体が開催する自転車通勤奨励キャンペーンをサポートしています。このキャンペーンでは約1か月の期間中に自転車通勤の頻度や距離などをチームで競い合うコンペも行われ、2017年は、シマノチェコから13チーム（38名）が参加しました。



消防訓練 '16年スタート

シマノフィリピンでは、「フィリピン防火月間」に合わせて消防訓練を行いました。全従業員が参加し、避難経路の確認や非常時にとるべき行動について学びました。



フィリピン 応急処置の研修 '16年スタート

シマノフィリピンでは、「フィリピン労働安全衛生基準」に基づいて、応急処置手順についての研修を行いました。



フィリピン 管理職研修 '17年スタート

シマノフィリピンでは、管理職のマネジメント能力とリーダーシップの醸成を目的に、研修を行いました。



フィリピン 化学物質取り扱い訓練 '17年スタート

シマノフィリピンでは、「化学物質流出対策委員会」による石油および化学物質の取り扱い訓練を行いました。



フィリピン 乳がん、子宮がんに関するセミナーの開催 '17年スタート

シマノフィリピンでは、地元のがん専門医による、乳がんと子宮がんの学習セミナーを社内で開催。同時に専門医による胸部検査とマンモグラフィー（胸部X線撮影）も行われました。



マレーシア 災害に備えた取り組み '15年スタート

シマノマレーシアでは、ISO 14001、OHSAS 18001と地域の安全法に対する取組として、毎年避難訓練を実施しています。2017年は、地元の消防署とマレーシア赤十字にも、この避難訓練に参加していただきました。



ヨーロッパ 視野を広げる講習 '12年スタート

シマノヨーロッパでは、「Inspirience[※] Workshop」と呼ばれる講習を従業員に対して行っています。毎回、専門の講師を招き、様々なトピックについて講義を行っています。

※ Inspiration と Experience を合わせた造語

ヨーロッパ シマノアカデミー '13年スタート

シマノアカデミーは全ヨーロッパの管理職や若手リーダー、新入社員を対象にした教育プログラムです。個人やチーム、またはビジネスの成長を促し、シマノの強みをさらに強化するものです。従業員のキャリアアップに繋がる効果的なプログラムとして役立っています。



シマノを支える人づくり——レクリエーション

スポーツゲームを開催 '96年スタート

シマノバタム（インドネシア）では、従業員のスポーツマン精神を醸成し、肉体的・精神的な健康意識を高めることで、生産性の向上を目指すスポーツイベントを毎年1回開催しています。2017年のイベントは、3月から5月にかけて、各部署から代表が出場し、サッカー、バレーボール、卓球など、6種目のスポーツで競い合いました。



ファンバイクイベントを開催 '05年スタート

シマノバタムでは、工場周辺の約10kmを走るサイクリングイベントを開催しています。毎年200名以上の従業員が参加し、サイクリングを楽しんでいます。



ファンフィッシングイベントを開催 '07年スタート

シマノバタムでは、地元の管理釣り場で社内フィッシングイベントを開催しました。参加した従業員約200名が10チームに分かれ、魚の大きさと釣り上げるまでの早さを競い合いました。釣り初心者でも参加できるようスタート前には釣り方を学べる講習も行い、自社のつくる製品が提供する楽しさを体感するよい機会となりました。



QEHS キャンペーンを開催 '14年スタート

シマノバタムでは、QEHS（品質、環境、健康、安全）に対する従業員の意識啓蒙を目的として、毎年イベントを行っています。地元警察による自転車安全運転講習の他、部品から自転車を組み立てるリレー競争や各種ゲームを通じて、楽しみながら QEHS について学べる機会となっています。



スポーツイベントを開催 '09年スタート

シマノヨーロッパでは、従業員を対象に、親睦を深めるスポーツイベントを開催しています。2017年は、約90名が、アイントハーヘン（オランダ）でのマラソン大会、プレダー（巨大魚）フィッシング、マウンテンバイクサイクリング、ナイメーヘン（オランダ）ツアーなど、様々なイベントを楽しみました。



キッズフィッシングデイを開催 '11年スタート

シマノヨーロッパでは、従業員の子どもたちに釣りの楽しさを知ってもらうためのイベント「キッズフィッシングデイ」を開催し、参加した子どもたちに道具箱やロッドをプレゼントしました。



サイクリングイベントを開催

シマノ昆山（中国）では、自転車文化の振興と従業員満足度を高めるため、社内のサイクリングクラブが中心となって、世界で有数の美しい湖である Qiandao Lake（千島湖）でサイクリングイベントを開催しました。参加者は20名、走行距離は141kmでした。



卓球大会を開催 '17年スタート

シマノ天津（中国）では、従業員の健康増進と結束力を高めるために、卓球大会を開催しました。



Summer Outing 2017を開催 '16年スタート

シマノフィリピンでは、地元のウォーターパークにてレクリエーション大会を開催しました。このイベントは従業員の日頃の業務を労うとともに、リフレッシュの機会を提供しています。様々なウォーターゲームを共に楽しむ中で、従業員同士のコミュニケーションの促進にも繋がっています。



スポーツ活動を支援 '17年スタート

シマノチェコでは、2017年から、スポーツ活動に参加する従業員を支援しています。社内バドミントン大会の開催及び、シマノチェコホッケーチームへのサポート、スパルタンレース※の参加費援助などを行いました。

※スパルタンレース：過酷な長距離レース



遊びの高揚

——人々に楽しみと遊びを提供する

「こころ躍る製品」——それは人々に自転車・釣りの楽しさを満喫していただくものに他なりません。そして、その楽しさをより多くの人々に伝え、その機会を提供していくことも、当社の重要な活動のひとつです。当社が主催や協賛している様々な自転車・釣りのイベントは、人々の楽しみの場であるとともに、交流の場となるものとして大切にしています。今回は2017年2月 大阪市北区にオープンした、自転車文化・釣り文化を発信する「SHIMANO SQUARE」をご紹介します。

「自転車」「釣り」を通して 新しいアーバンスポーツライフを提案

「SHIMANO SQUARE (シマノスクエア)」が2017年2月8日、グランフロント大阪・ナレッジキャピタル内(大阪市北区)にオープンしました。

SHIMANO SQUARE は、「出会い」「価値体験」「感動体験」「癒し、くつろぎ」を提供する場として、ゆったりくつろげるカフェスペース、自転車・釣りに関する情報をご提案するラボスペースを設けています。

これまで自転車、釣りになじみのなかったお客様にも、直接シマノ製品に触れることで、上質な自転車、釣りの世界の楽しさを知っていただき、新しいアーバンスポーツライフの体験や価値を共有していただければと考えています。

シマノがこれまでご提案してきた自転車ライフ、釣りライフが従来の枠を越え、新しい価値や文化を生み出すことを目指しています。



SHIMANO SQUARE
大阪市北区大深町3番1号
グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル4階
【営業時間】10:00～21:00 【定休日】月曜日
【TEL】06-4256-6789
【WEB】<http://www.shimanosquare.com>



SHIMANO SQUARE

シマノスクエア

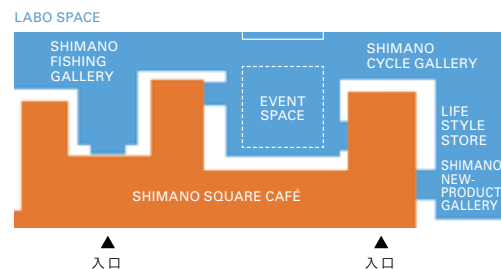
SHIMANO SQUARE では、自転車や釣りになじみがない方にも気軽に入っていただけるよう、きっかけとして入口側にカフェを設置しました。ラボスペースとの境界はブックライブラリーになっており、棚の随所に配置されている自転車や釣り風景のジオラマや、ライブラリーのすき間から見える奥の美しい展示などから、自然とお客様を自転車・釣りの世界へいざなうような工夫をしています。

SHIMANO SQUARE CAFÉ

広々としたカフェ空間がお客様をお迎えします。落ち着いたナチュラルな雰囲気、上質なリラックスタイムをお過ごしいただけます。提供するメニューには、全て厳選された素材を使用。ブックライブラリーには、自転車、釣りを始め、こころ躍るような旅やアウトドア、ライフスタイルに関する書籍を揃えています。

LABO SPACE

カフェの奥に広がるラボスペースには、シマノ製品の展示だけでなく、サイクリング・フィッシングの爽快なシーンを映し出す大型スクリーンやパネルも設置しています。



カフェタイムを彩る
ブックライブラリ

夕方からはバータイムが楽しめます



EVENT SPACE

ここに訪れた方が集い、自転車や釣りの楽しさを知っていただくために新しい発見や交流を重ねていけるよう、様々なイベントを開催しています。

2017年は、自転車・釣りに関する講習会や各種ワークショップ、野外でのサイクリングなどのイベントを積極的に開催してきました。

SHIMANO CYCLE GALLERY

自転車の構造や歴史、またそれぞれのパーツの働きなどをわかりやすく紹介。話題の自転車や自転車の持つ可能性を伝えるパネルも展示しています。

SHIMANO FISHING GALLERY

河川や、海、湖沼などのシーンだけではなく、地域、季節によっても釣りの楽しみ方は様々です。釣具製品の展示だけでなく、フィッシングを広く楽しむための様々な提案も行います。



フィッシングインストラクターを講師にお迎えし、マダイを釣るための道具「タイラバ」の入門講座を開催しました



LIFE STYLE STORE では上質で洗練された雑貨などを取り扱っています



SHIMANO SQUARE CAFE



フィッシングシーンのジオラマ

● 自転車博物館 サイクルセンターの運営協力

’92年スタート

本社のある堺市に1992年に開館した自転車博物館サイクルセンター（運営：公益財団法人シマノ・サイクル開発センター）。国内で唯一の自転車専門の登録博物館として、自転車が発明された1818年のドライジーネ（レプリカ）からオリンピック出場選手が使用した最新の自転車まで、約300台を保有。自転車の展示だけでなく、自転車のあるライフスタイルを提案するための各種イベントや講習など、様々な活動を行っています。

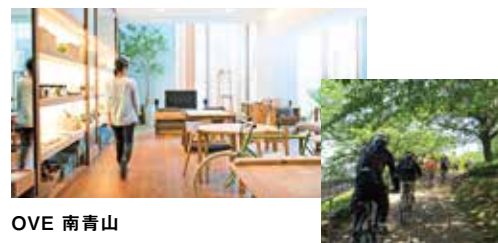


アクセス：JR 阪和線「百舌鳥（もず）」駅から徒歩13分
〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-2 TEL：072-243-3196
営業時間：10:00～16:30 定休日：月曜日

● LIFE CREATION SPACE OVE (オーブ)

’06年スタート

OVE は新しい自転車文化の発信基地としての活動をしています。行き先を決めて走るのではなく、ちょっと目線を変えてその道のりを愉しむ。そんな散歩感覚で、気ままに自転車を走らせる「OVE 散走」をはじめ、多彩なイベントを通じ、ゆったりと豊かに自転車に乗っていただくための様々なライフスタイルの提案を行っています。



OVE 南青山

アクセス：東京メトロ銀座線・半蔵門線
「表参道」駅または「外苑前」駅から徒歩8分
〒107-0062 東京都港区南青山3-4-8 KDXレジデンス南青山1F
TEL：03-5785-0403
営業時間：10:00～19:00 定休日：月曜日

● Shimano Cycling World

’14年スタート

2014年9月、「自転車文化の発展」「ライフスタイルとしての自転車の推進」「東南アジアにおけるシマノブランドの浸透」を目的として、シンガポールにオープンした体験型展示施設 Shimano Cycling World。来場者の皆様に、自転車を通じてより豊かなライフスタイルを提案しています。サイクリングコースやメンテナンスに関するワークショップなど多彩なイベントも開催され、2017年の来場者は57,711名を記録しました。



● 自転車と暮らしの情報ツール「Cyclingood」

’13年スタート

「自転車と一緒に作る健康的で豊かな暮らし」を一人でも多くの方に知っていただくことを目的として、「Cyclingood（サイクリングッド）」を発信しています。「自転車と健康」の関係について大学と共同研究を行い、その結果を掲載するなど様々な情報を社会に向けて発信し、自転車文化の向上に役立てたいと考えています。



ウェブサイト
「Cyclingood Web」

フリー情報誌
「Cyclingood」

● フィッシング・カフェ プロジェクト&シマノ TV

’00年スタート

釣り人が気ままに交流し、新しい釣り文化を創造していく「フィッシング・カフェ プロジェクト」。年3回発行される雑誌と、スカパー・ペクTV・BS 釣りビジョンで放送されるテレビ番組、最新情報をお届けするウェブサイトを通じて、釣りをめぐる様々な話題や情報を発信しています。2007年からはウェブコンテンツとして24時間365日楽しめ、世界規模のフィッシングチャンネル「シマノ TV」を開始。充実した内容で、ビギナーからベテランまでお楽しみいただけます。



雑誌
「Fishing Café」

フィッシングチャンネル「シマノ TV」
<http://tv.shimano.co.jp/>

● シマノレーシング

’73年スタート

1973年発足の「シマノレーシング」。製品開発へのフィードバックとともに、何よりも大事にしているのが日本のサイクルスポーツの発展拡大です。近年は「世界トップレベルで活躍する選手育成」という目標を掲げています。



■その他の活動

イベントの主催・協賛



自転車イベント(主催/協賛)



(日本)

.....'84年スタート

シマノ鈴鹿ロード(三重)①

2017年8月19日・20日、シマノが主催する日本最大級のスポーツサイクルイベント第34回「シマノ鈴鹿ロード」が鈴鹿サーキットにて開催されました。2日間で延べ約12,000名が参加し、自転車レースを楽しみました。また、シマノ社員約90名がスタッフを務め、大会を支えました。

.....'91年スタート

SHIMANO Biker's Festival(長野)②

2017年7月29日・30日、富士見パノラマリゾートにてマウンテンバイクイベント「シマノバイカーズフェスティバル」が開催されました。27回目を迎えた今大会はあいにくの天候にもかかわらず、様々な種目が行われ、2,000名を超えるライダーの皆様もそれぞれのレースを大いに楽しんでいました。



(ブラジル)

.....'10年スタート

シマノ・フェスト2017③④

2010年にブラジルでスタートしたシマノ・フェスト。第1回の来場者が約1,700名だったのに対し、2017年、サンパウロでは2日間で延べ約25,500名が来場。中南米トップレーサーの走りの臨場感を味わえるショートトラックMTB(マウンテンバイク)や、各種レースや約200ブランドのブース展示、ミュージックコンサートなどの催しを行い、自転車の楽しさを知っていただく機会を提供しました。



(マレーシア)

.....'17年スタート

RHB Shimano Highway Ride⑤

ハイウェイを利用したロードバイクチャレンジ、RHB Shimano Highway Rideを2017年4月15日・16日の2日間、LEKAS Highwayで開催しました。上級者を対象にした105kmから、子供たちを対象にした7kmまで、5種類のルートで、延べ約4,000名の参加者が様々なカテゴリーのレースを楽しみました。



(フィリピン)

.....'11年スタート

2017 Shimano Dirt and Play⑥

2017年5月28日、7回目となるShimano Dirt and Playを開催しました。オフロードコースをマウンテンバイクで周回するクロスカンントリーを中心に、今回は、早朝の街を走るBike-Plant-Bikeを加え、延べ約1,500名の参加者が楽しめました。



(オーストラリア)

.....'17年スタート

Cape to Cape⑦

2017年10月下旬、オーストラリア最大のマウンテンバイク・ステージレース「Cape to Cape」の主要スポンサーとして参画しました。

.....'17年スタート

Shimano Sprint Series⑧

ロードレースに参加できる機会を増やすことを目的に、本年からローンセストン、シドニー、メルボルンの3か所で「Shimano Sprint Series」を開催。レースに参加した大勢のライダーや観客で会場は大いに盛り上がりを見せました。



(カナダ)

.....'14年スタート

Canadian Cyclocross Nationals

2014年以来、「全カナダ・シクロクロス選手権」の冠スポンサーを継続しています。

.....'17年スタート

H&R Block Pro Cycling Teamへのスポンサー⑨⑩

カナダのロードレーシングチーム「The H&R Block Pro Cycling Team」のスポンサーとして、レースへの参加サポートとともに、学校訪問なども行い、スポーツ自転車の振興を推し進めています。

.....'16年スタート

Shimano Gran Fondo⑪

多くのライダーが集うサイクルイベント「Shimano Gran Fondo」を2016年から開催しています。

.....'17年スタート

トラック競技場にスタッフを派遣⑫

カナダ国内のトラック競技場にスタッフを派遣、様々なレースを支えています。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑨



⑪



⑧



⑩



⑫



テクニカルサポートの派遣

トップレベルのプロレースだけでなく、世界各地のサイクルスポーツイベントにもサポートカーとスタッフを派遣。参加者の皆様に安全に楽しんでいただくことを第一にテクニカルサポートを行っています。

.....'90年代後半スタート

Paracycling(ヨーロッパ)

.....'05年スタート

Tour of Qinghai Lake(中国)

.....'06年スタート

Tour of Hainan(中国)

.....'10年代後半スタート

Tour of China(中国)

.....'12年スタート

Tour of Zhoushan Island(中国)

.....'96年スタート

Tour of Japan(日本)

など多数のレースでサポートを行っています。



釣りイベント(主催)



(オーストラリア)

.....'93年スタート

Gold Coast Flathead Classic

キャッチ・アンド・リリース方式のフラットヘッド(大型のコチ)釣り大会「Flathead Classic」。オーストラリア最大のこのフィッシングイベントに、シマノはメインスポンサーとしてフィッシングチームを派遣しました。2017年度の全参加者の釣果総合計は5,669匹。大会は大いに盛り上がりました。



(日本)

.....'84年スタート

シマノ ジャパンカップ

競技としての釣りを楽しむ場を提供するため、1984年から始まったシマノジャパンカップ。今では様々な釣種のトーナメントを全国規模で行っており、その競技レベルの高さやルール・順位づけの正当性が評価されています。

その他のイベント

競技だけでなく、釣りファンに広く楽しんでいただくためのイベントも、多数開催しています。これからも釣り文化のさらなる発展を願い、幅広い活動を続けてまいります。



利用環境の改善と保全

—— 自然環境、生活環境、製品利用環境の改善と保全への協力

地球環境 —— それはアウトドア・スポーツを楽しむためのフィールドです。その保全のためにたゆまぬ努力を続けることは、当社にとって当然であり、基本的な命題です。製造過程において最大限環境負荷を抑えるため、様々な設備改善・革新につねに取り組むとともに、海岸や河川といったフィールドの清掃や環境保全活動にも積極的に参加しています。今回は、環境に配慮したシマノヨーロッパ本社新社屋を中心に紹介します。

環境と人に配慮したシマノヨーロッパ本社新社屋

2017年1月に完成したシマノヨーロッパ本社新社屋は、"Closer to Nature, Closer to People" という企業タグラインに添った設計コンセプトの下に建設されています。建物の外観をガラス張りにすることで、企業としての透明性を図るとともに、HIGH TECH CAMPUS 全体との調和を図っています。屋根には太陽光パネルを敷き詰めるなどエコフレンドリーな社屋を実現しています。また、新社屋周辺には芝生や樹木を配し、可能な限り自然との調和もめざしました。



HIGH TECH CAMPUS
(右上白丸部分にシマノヨーロッパ本社があります)

HIGH TECH CAMPUS EINDHOVEN

Eindhoven (アイントホーヘン) はオランダ第5位の人口を持つ工業都市。HIGH TECH CAMPUS は現在160社以上が拠点を構える、最先端の技術や人材が集結するオランダ屈指の研究開発拠点です。

シマノヨーロッパグループ

シマノヨーロッパグループは、オランダ Eindhoven に本社を構え、ベネルクス、フランス、スウェーデン、フィンランド、ノルウェー、デンマーク、ポーランド、トルコ、ドイツ、イタリア、イギリスに自転車部品や釣具の営業拠点を構えて、欧州を中心とした広範囲な活動を展開しています。



エコフレンドリーな社屋

自然との調和を重視しサステナビリティを意識した建物をめざし、環境への様々な配慮を行っています。建物の屋根部に敷き詰められた太陽光パネルの発電によって、推定年間消費電力の60%を自社でまかない、残りのエコ発電の電力を利用しています。外観のガラスに垂直に設置した白く薄い板は、室内の従業員が直射日光を浴びることを防いでいます。同時に、この板に反射した光を採り入れることにより、非常に明るい室内環境を実現。照明の使用を最小限に抑えることができます。また、建物の全ての照明にLEDを採用しており、消費電力を大幅に抑えています。さらに、将来社屋を解体する場合、その80%が新たな建物の建築材として再利用が可能となっています。

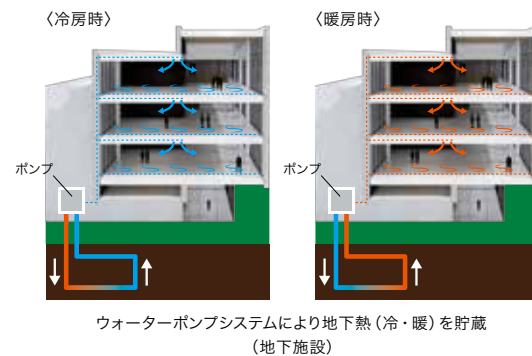


白い板に光が反射することにより、自然光によって明るい室内環境を実現

天井一体型冷暖房システム

天井と一体化した高性能冷暖房システムを採用。水を利用したポンプシステムにより、地中熱※を各フロアの天井に伝えることで空調が可能。オフィス内は常に一定の温度に保たれます。また、社屋の構造を利用し、新鮮な空気をオフィス全体に取り入れることができるよう設計。快適な空気環境を実現しています。

※地中の温度は地下10～200mの深さになると年間を通じてほぼ一定（約17℃）になります。



屋根には一面太陽光パネルを設置しています

野外のエコロジー対策

〈小型動物への配慮〉

社屋外壁部に「コウモリの巣箱」を取り付け、夏季の繁殖に最適な環境を提供します。また、その近くには、木の枝を重ね、爬虫類や両生類、小型哺乳類のすみかも確保しています。

〈ヘザー※の植え付け〉

昆虫たちが生息できるよう、社屋周辺には芝生やヘザーを植え付けています。芝生は、羊の群が定期的によってきて短く刈り揃えられます。こういった植林が周辺の自然との調和となることを願っています。

※ユーラシア原産の常緑低木。小さい釣鐘状の花を付ける。



働きやすい工夫を凝らしたオフィス環境

2階～4階はオープンエリアのオフィススペース。ここでは「フレックスデスクポリシー」を採用しており、従業員は自分専用のデスクを持ちません。帰宅時には自分の荷物をロッカーへ片づけるので、常にすっきりとしたオフィス環境を実現しています。デスクは使用者の背丈に合わせて、また立った状態でも仕事ができるよう、高さが電動で調節できる機能を搭載。また、従業員の健康と活力を促進するため、月曜日と水曜日にはバスケットいっぱいのお新鮮なフルーツが提供されます。従業員は好みのフルーツを無料で楽しむことができます。



広々としたオフィス空間にはオープンミーティングスペースも



無料で提供されるフルーツ



立っても仕事ができるよう、電動でデスクの高さが調節できます



Global シマノグリーンプラン '04年スタート

当社では2004年以来、環境負荷の低い製品づくりを行うための指針として、シマノグリーンプラン（SGP）を策定し、協力会社と協働してその順守に取り組んでいます。

■法規制への対応、そして最適化へ

SGPは当社製品を構成する原材料・部品・製品に含まれる化学物質の規制値を明確にし、協力会社にも周知徹底することで、より環境負荷・健康負荷の少ない製品と安心を世界中のお客様にお届けすることを目的とした調達基準です。年々厳しくなる法規制への対応に加え、顧客や市場の要求に応える改訂を行うとともに、シマノ自主基準を改良して法規制対応の効率化など SGP の最適化を図っています。

■リスクに応じた活動

2004年にスタートしたSGP。現在ではその順守性は大きく向上しています。同時に、製品含有化学物質の管理上、リスクが高く重点的に基準値を超えない管理をする必要がある材料・部品が明確になってきました。

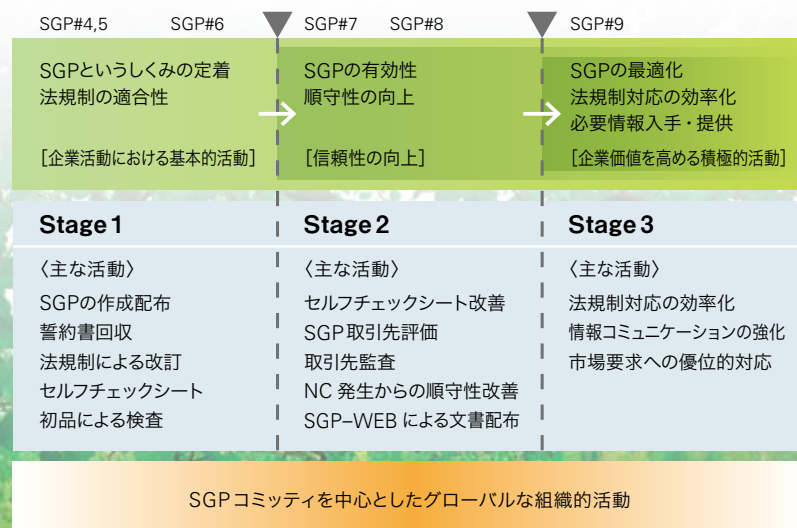
2017年はリスクに応じた活動に力を入れてきました。重点管理すべき部材を扱う部署を対象にセミナーを実施するなど、リスク管理の知識や具体的な手法を社内で共有し、日々の管理向上に役立てています。また、協力会社が自社の管理状況を確認し記入した「セルフチェックシート」等に基づき、管理の改善が必要と評価される場合には、改善に向けたアイデアを提供して実施を確認するまでフォローアップを行い、サプライチェーン全体の順守性を確実にするための地道な取り組みを続けています。日本国内および各海外工場では分析機器を使用し、材料・部品のリスクに応じた社内検査を実施して順守性の確認を行い、お客様に信頼される製品づくりを進めています。

■ロードマップ

現在はSGP9版の運用により、ロードマップ上のStage3の活動として、法規制対応の効率化と情報コミュニケーションの強化を進めています。

国内・海外のSGPコミティメンバーと連携をとり、ウェブ会議システムなどの技術も利用しながら協働し、企業価値を高める活動を行っています。また、「SGP NEWS」を発行・配信し、本社工場と海外工場・販社とが情報共有できるようにしています。今後も協力会社とのパートナーシップを強化し、環境や健康に配慮した製品づくりを継続して推し進めてまいります。

シマノグリーンプラン ロードマップ



シマノフィリピン
メンバーによる
現地協力会社
向け説明会



専用機器による製品検査

環境負荷低減への取り組み

中国 ウォーターリートメント '97年スタート

シマノ昆山では水資源を保護するために、工場排水の浄化施設を備えています。

中国 騒音監視 '99年スタート

シマノ昆山では、工場周辺の住宅地域における騒音による影響を抑え、さらに職場環境の向上を目指すために、工場内の騒音を監視するシステムを構築しています。

中国 圧縮パレットの使用 '14年スタート

シマノ昆山では、2014年から農業廃棄物で作った圧縮パレットを使用しています。このパレットはISPM15*基準に適合しており、材料の95%が稲わら、麦わらと竹のくずで、ホルムアルデヒドは含まれていません。また、このパレットの販売業者は1パレットに対し1米ドルを世界自然保護基金（WWF）とその関連の団体に寄付しています。

※国際梱包材の規制

フィリピン 省エネ活動を展開

シマノフィリピンは2017年2月、エネルギーマネジメントシステム（ISO50001）の認定を受けました。

中国 水資源のマネジメントシステム '16年スタート

シマノシンガポールでは、水資源の効率化を目指すマネジメントシステムを導入し、2016年度末までに10%の節水に成功しました。2017年には、「効率的な水利用管理システム」の認定をTUVSUD*から受けました。

※ドイツに本社をおき、グローバルに展開している第三者認証機関

中国 エネルギー効率全国パートナーシップ受賞

2017年10月、シマノシンガポールは「エネルギー効率全国パートナーシップ賞」を受賞しました。この賞は、厳しい審査基準のもと、エネルギー消費を大幅に抑えた団体が環境庁から表彰されるものです。シマノシンガポールは、2014年からエネルギー効率を高めるためのロードマップを策定し、実行し続けています。



身近な環境に対する取り組み

〈植樹活動〉

 シマノトルコでは、お客様と一緒に500本の植樹を行いました。



トルコ

 シマノ昆山、シマノ天津では、2009年以来、モンゴルの砂漠地帯に100万本の木を植える「ミリオンツリープロジェクト」に参加しています。緑の広がりを願い、積極的に育成作業を積み重ねています。



中国

 シマノシンガポールでは、前年に引き続き植樹活動を行い、今回は Kent Ridge Park に約50本の植樹を行いました。



シンガポール

 シマノオーストラリアでは、ボランティア団体が行う植樹活動にスポンサーとして参加しました。隣接するダボ市の河岸地帯の環境を改善するため、地元の漁師や住民も加わり、1,000本以上の植樹を行いました。



オーストラリア

 緑豊かな環境を守り続けるための植樹は、シマノマレーシアにとって企業の社会的責任を果たすための恒例イベントです。今年は53名の従業員とその家族が、アジア大陸最南端にある国立公園ピアイ岬で500本のマングローブを植えました。



マレーシア

〈清掃活動〉

 シマノフィリピンでは、周辺企業や住民とともに、急速な産業発展に伴う水質汚染が深刻なファーストフィリピン工業団地内を流れるサンファン川の清掃活動を行いました。



フィリピン

 ファーストフィリピン工業団地に隣接するバランガイ在住のシマノフィリピン従業員が、バランガイの水路の清掃を行い、雨季になると水路に溜まったゴミがサンファン川に流れ込むことを予防しています。



フィリピン

 シマノマレーシアでは、マングローブの植樹とともに、マングローブの森の清掃を行いました。清掃を行うことにより、森の環境を健全に保ち、若いマングローブの成長を後押しします。



マレーシア

 シマノ本社では、堺浜自然再生ふれあいビーチにて、クリーンアップ活動を行いました。57名の従業員が参加し、400kgものゴミを集めました。



日本

「Capiavara's Ride」の開催 '11年スタート

シマノラテンアメリカではサンパウロ市内の主要な河川の一つである Pinheiros 川の汚染に対する問題意識を高めるため、サイクリングイベントを開催しました。その参加費を、川の清掃を支援する団体に寄付しています。



かつてその数が減少していた Pinheiros 川のカピバラも徐々に増え始めています

「EARTH HOUR」チャリティマーケットに参加 '16年スタート

シマノ昆山は世界自然保護基金による世界的な環境イベント「EARTH HOUR」にちなんで中国で開催されたチャリティマーケットに前年度に引き続き参加し、環境保護への意識を呼びかけました。



環境教育への協力 '06年スタート

本社所在地である堺市の小学校をシマノ本社の従業員が訪問し、環境教育のサポートを行っています。2017年には市内を流れる石津川、大和川水系で刈り取られたヨシによるハガキの紙漉き授業を行いました。このような活動を通じて、幼少期からの環境教育に協力しています。



信頼の構築

——人地域社会に企業市民として
参加し協働する

地域社会とのコミュニケーションを密にし、企業市民として
共存・共栄を図ることは、当社の理想とする企業姿勢です。
日本はもとより、世界各地に拠点を置く地域社会の一員として、
地域と一体となって取り組める活動を積極的に行っています。
今回は「安全で楽しい自転車利用を目指して」「子供たちの教育
支援」「義損活動」及び「企業市民として」の4つのテーマに分け
てご紹介させていただきます。



安全で楽しい自転車利用を目指して



子供たちの教育現場



義損活動



企業市民として

全世界に広がるチームシマノ約50の拠点が、信頼の構築を育んでいくための活動を、地道に継続して行っています。
ときには拠点同士が連携して取り組んだり、各拠点の活動と内容の情報を共有することで、
より充実した社会活動を展開しています。各拠点からのレポートも年々増加しています。
ここでは、活動の内容を4つのテーマに分類しながら、その一部をまとめてみました。

安全で楽しい自転車利用を目指して

がんと闘う人たちのライディングサポート（オランダ）や交通安全活動（フランス）など、
自転車をより多くの人々に、より安全に楽しんでいただくための活動

子供たちの教育支援

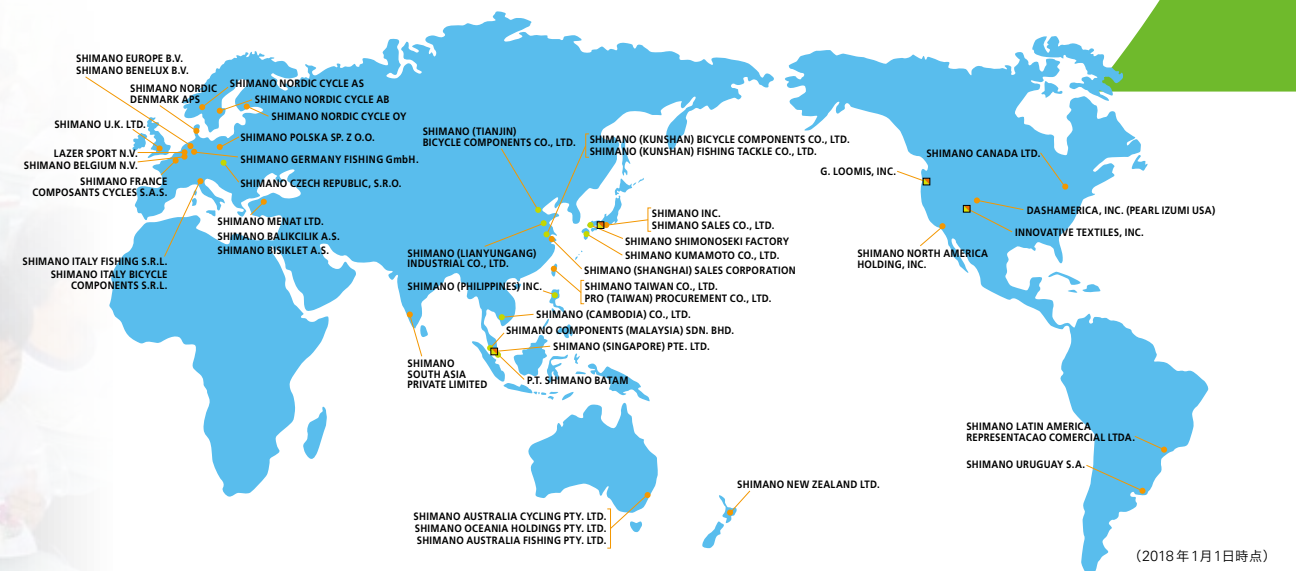
地元小学校を訪れスポーツ車の特徴や乗り方の啓蒙（日本）など、子供たちの教育支援活動

義損活動

団体献血（インドネシア、フィリピン、マレーシア、日本）や、がん患者のための募金リレー（オーストラリア）などの活動

企業市民として

孤児院や老人ホームの訪問（インドネシア、中国）や、地元企業の雇用促進（オランダ）など、
地域社会との共存のためのコミュニケーション活動



(2018年1月1日時点)

安全で楽しい自転車利用を目指して

リサイクル自転車の寄付活動

’17年スタート

シモノポーランドでは、古くなったり壊れたりした自転車を収集・整備し、孤児院の子どもたちに寄贈する活動を始めました。

チャリティサイクリングイベントにテクニカルサポートを提供

’16年スタート

シモノベネルクスは「がんと闘う」をテーマにしたチャリティサイクリングイベントに、テクニカルサポートを派遣しました。このイベントは4日間で1,000kmを走破するもので、およそ4,000名のサイクリストから集まった参加費は、がんの併用療法を研究する機関に寄付されました。



Digest Science 財団のサイクルイベントを支援

’16年スタート

消化器系疾患と栄養に関する研究基盤のためのフランスの財団「Digest Science」が主催する、チャリティサイクリングイベントをサポートしています。このイベントは、疾病と闘う人たちにチャレンジする楽しさや希望を感じていただくためのものです。

交通安全のボランティア活動に参加

’17年スタート

シモノ連雲港（中国）の従業員は、工場近くの交差点で通行人に交通安全指導を行い、地元の人々の安全とマナーの向上に貢献しました。



子供たちの自転車を整備

’12年スタート

シモノシンガポールでは、子供たちがトラブルなく自転車に乗れるよう、交通安全公園が保有する自転車の整備を行いました。



スクールチャリティライドに参加

’17年スタート

シモノマレーシアでは、地元の小学校が主催するチャリティサイクリングイベントをサポートしました。参加者やスポンサーから集まった資金は、学校活動費に充てられます。多くのシモノマレーシアの従業員もこのイベントに参加し、サイクリングを楽しみました。



地元トレイルの維持管理を支援

’17年スタート

シモノカナダは、地元のトレイル管理団体に、シモノカナダの総売上高の1%をトレイルの維持管理費として寄付しました。

Pedal for Hope へのサポート

’06年スタート

シモノカナダでは、がんと闘う子どもたちを支援する団体「Pedal for Hope」のチャリティサイクリングイベントをサポートしました。集まった寄付金は小児がんの研究を行う機関に寄付されました。

※「Pedal for Hope」：小児がん患者のためにカナダで展開されている慈善活動



子供たちの教育支援

地元の職業訓練プロジェクトを支援

’16年スタート

シモノイタリアでは、地元の高校の職業訓練プロジェクトに賛同し、学生に2週間、シモノの業務に携わり様々な経験をしてもらう活動を行っています。

地元小学校へのサポート

’16年スタート

シモノフィリピンでは、従業員が地元の小学校を訪問し、教室の清掃や設備の修復を行い、清掃用具やゴミ箱などを寄贈しました。



健康衛生に関する教育プログラムを実施

’16年スタート

シモノフィリピンでは、工場のあるファーストフィリピン工業団地の協会メンバーとともに地元の小学校を訪問し、健康や栄養への意識を高めてもらうためのプログラムを開催しました。



シモノレーシングが地元小学校を訪問

’16年スタート

シモノレーシングのメンバーが地元・堺市の小学校を訪問。堺との歴史と自転車産業の関わりや、自転車交通ルールについて講話し、また、最新のロードバイク、プロロードレースの世界について紹介しました。



義捐活動

孤児院を訪問 '06年スタート

シマノバタムでは、孤児院を訪問し、従業員から集めた寄付金を贈りました。



孤児院への寄付活動 '14年スタート

シマノカンボジアでは、地元の孤児院の活動を支援するため、2014年から毎月約1,000kgの米を寄贈しています。



障がい児孤児院を訪問 '16年スタート

シマノ連雲港は、障がいのある子供たちが暮らす孤児院を訪問し、ギフトを贈りました。



がん患者のための募金リレー '17年スタート

シマノオーストラリアでは、がん治療の研究、そしてその患者と介護者のためのチャリティイベント「24時間リレーウォーク」に参加し、募金活動に協力しました。

クリスマスギフトの寄付活動 '11年スタート

G.Loomisでは、地元のロータリークラブと共同して、恵まれない子どもたちのためにクリスマスギフトを購入しました。



「Shop With a Cop」プログラムに寄付 '13年スタート

G.Loomisでは、地元の警察署とともに、恵まれない子供たちに特別なクリスマスプレゼントを贈る「Shop With a Cop」プログラムに寄付を行いました。



慈善活動への参加 '15年スタート

シマノポーランドでは、クリスマスシーズンの恒例行事として、「Nobel Gift」というポーランドの慈善活動に参加しています。2017年は、募金集めや支援対象となる家族の選考、プレゼントの購入や発送などを行いました。

オランダのYouth Sports FundにIT機器を寄贈 '15年スタート

シマノヨーロッパのIT部門では、2015年より「Youth Sports Fund Netherlands」にIT機器を寄贈。この財団は、子供たちがスポーツクラブに参加できるよう資金や用具のサポートをしています。

入院児童支援への寄付 '14年スタート

シマノヨーロッパでは、年間30以上のサイクリングイベントでテクニカルサポートを行い、そこで募った寄付金をオランダの小児医療施設をサポートする財団「Clini Clowns」に寄付しています。

幼稚園児に学用品を寄付 '11年スタート

シマノフィリピンでは、地元の幼稚園を訪問し、園児たちに学用品のセットを寄贈しました。



孤児に学用品を寄付 '17年スタート

シマノ連雲港では、ボランティア団体と協力して、孤児たちが学ぶ地元の学校を訪問、本や学用品を贈りました。

「SOS Children's Village」をサポート '16年スタート

シマノ天津は、保護を必要とする子供たちをケアする団体「SOS Children's Village」を訪問し、贈り物を送るなど様々なサポートをしています。



企業市民として

地元企業の雇用を促進 '01年スタート

シマノヨーロッパでは、長年にわたりオランダ・ヌンスピートの地元企業とパートナーとして密接に連携・協力。安全に安心して働ける労働環境の管理業務（庭のメンテナンス、昼食の配布、製品の再梱包等）の提供を行っています。



Topsport for Life 財団のサポート '10年スタート

シマノヨーロッパでは、生命にかかわる疾患を持つ人々をサポートするオランダの財団「Topsport for Life」に対し、様々な支援を行っています。



「筋ジストロフィーの子供を持つ親の会」とのパートナーシップ '17年スタート

シマノイタリアでは、歩行困難な子供たちが自分で移動できるよう、「筋ジストロフィーの子供を持つ親の会」と連携し、「自立のための四輪車」プロジェクトをサポートしました。

Greenacres の活動を支援 '06年スタート

シマノオーストラリアでは、「Greenacres」という障がい者福祉施設の活動をサポートしており、これまで10年以上にわたり障がい者の雇用を促進しています。スキルを身につけ、仕事に参加してもらえるよう様々な機会を提供しています。



釣り場の管理を支援 '17年スタート

シマノオーストラリアでは、巨大魚・バラマンディ釣り競技会をサポートしました。延べ参加者約600名による大会は、魚資源を守る団体のための募金活動として行われ、魚の放流セッションや動物との交流など様々なプログラムで、地域の人々の人気を集めています。



老人ホームを訪問 '09年スタート

シマノ昆山では、重陽節を前にして老人ホームを訪問しています。2017年は入居者の方々とともに植物園に出かけ、花の鉢植えを作ったり、野菜を収穫したりして楽しみました。



故郷訪問 '13年スタート

シマノ昆山では、業務の都合等で中秋節に帰省できなかった従業員の故郷をマネジメントが訪問し、家族に謝意を伝えるとともに記念品を贈呈しました。



小学生を工場見学会に招待 '14年スタート

シマノ昆山では、自転車とシマノについて知ってもらうため、地元の小学生を招いて工場見学会を行いました。



シマノデイ '14年スタート

シマノ天津では、大学との交流を持つことを目的とした「シマノデイ」を開催しました。



団体献血を実施 '07年スタート

シマノバタムでは、年に3回、インドネシアのバタム赤十字と協力して、団体献血を行っています。



団体献血を実施 '16年スタート

シマノフィリピンでは、フィリピン赤十字社と協力して団体献血を行っています。今年は約50名の従業員が献血に協力しました。



団体献血を実施 '00年スタート

シマノマレーシアでは、国立病院の協力を得て団体献血を行いました。



団体献血を実施 '81年スタート

シマノ本社では、毎年団体献血を実施しており、今年は68名の従業員が献血に協力しました。



社会活動報告書を読んで

2017年の経済は総じて世界同時好況と言われ、欧米・アジア・日本でも多くの企業が好業績を上げた。グローバル化とデジタルのモバイル化、さらにIoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）、ビッグデータ解析、VR（仮想現実）などが相互に融合し、第4次産業革命と言われるイノベーションが進行している。他方、働き方改革などにより人々は自らの時間をいかにエンjoyするのか、新たな課題となってきた。

今回、シマノの社会活動報告書から高度な技術と感性の融合による製品の背景に「不易」と「革新」の両面が見え、持続可能な企業価値の創造を予感できる。投資家はじめ多くのステークホルダーとの対話・エンゲージメントに活用されるのではないだろうか。

本業の自転車部品事業では、ユーザービリティの基本である「使いやすさ」「快適走行」を心掛けた。スポーツバイク用電動アシストユニット「SHIMANO STEPS E8080シリーズ」は国内向けに開発され、サイクリングに期待が膨らむ。世界の工業製品対象のドイツの「iF Design Award」を「DURA-ACE R9100シリーズ」が受賞、(公社)日本デザイン振興会のグッドデザイン賞を「SHIMANO DEORE M6000シリーズ」が受賞している。いまや工業製品はテクニカル機能だけでなく、アートやデザインに優れていなければ、ユーザーにインスパイアし価値を認められなくなっている。釣具でも「Soare XTUNE」がグッドデザイン賞をとり、自転車部品とダブル受賞した。「TWIN POWER XD」も欧州釣具ショー EFTTEX のリール部門で Best New Reel 賞を受賞、世界最大級の釣具展示会 ICAST では「SUSTAIN」や「CURADO K」が受賞しており、これらの快挙がブランド価値を一層向上させている。

上場会社として内部統制システムの確立は、資本市場からの要請が強まり、シマノはコンプライアンス・ガイドラインを改訂、行動規範（コード・オブ・コンダクト）を策定した。グローバル社会でのステークホルダーの信頼を得るため「法令と倫理」「事業活動」「環境保全と社会貢献」「職場環境」の4つの視点で軸を示した。政府も企業側の対応を促す会社法改正、「コーポレート・ガバナンス・コード」、機関投資家側へのガバナンス改革を促す「スチュワードシップ・コード」を導入し、インベストメント・チェーン（資金拠出者から最終的使用者の企業までの経路）の活性化を図ってきた。これに呼応して、コード・オブ・コンダクトを策定したのは適切な対応と評価できる。ただ「職場環境」の多様性に近年話題となっているLGBT等を含むと解釈できるが、何らかの記載があるとよかったのではないか。「シマノを支える人づくり」で企業価値を向上させる技術・技能や知的資産を持つ「人的資本」に触れ、世界の拠点で様々な研修、訓練やイベント等を実施、前向きな育成意欲を知ることができる。

「こころ躍る製品」を提供するシマノとして「自転車」「釣り」のアーバンスポーツライフの楽しさを知ってもらう機会を提供する活動もしている。大阪の玄関口梅田のグランフロント大阪・ナレッジキャピタルに「SHIMANO SQUARE（シマノスクエア）」をオープン、なじみのなかった人に認知（awareness）から推奨（advocacy）に至る“カスタマー・ジャーニー”の場づくりをした。いわばフィリップ・コトラーの提唱する“マーケティング4.0”の実践かもしれない。「歓びの高揚」という表現にふさわしい。

シマノ製品は地球環境がフィールドであり、環境保全への取り組みが顕著である。欧州本社をオランダのアイントホーヘンに構え、外観ガラス張り、太陽パネル敷き屋根という環境配慮のビルを建築した。年間消費電力60%を自社でまかない、建材は80%が再利用可能という。天井一体型冷暖房システムを整備、周辺は植木と共に小動物や昆虫への配慮もしている。オフィスもフレックスデスクで、開放的環境が写真で伝わってくる。環境負荷低減への製品づくり指針シマノグリーンプラン（SGP）を2004年に策定、法規制の強化に対応し自主基準も改良した。国内外の協力会社と連携、ウェブ会議で情報交換などグローバルな組織活動もしている。世界各地での植樹や森・川の清掃も見逃せない。

「信頼の構築」では世界のチームシマノ約50拠点で、地域社会と共生する活動を4つのテーマに分けて報告している。「安全で楽しい自転車利用」では中古自転車の修理、孤児院への寄贈など。「子供たちの教育支援」では施設修復、清掃、ごみ箱寄贈、自転車交通ルールの指導などの活動がある。「企業市民として」は障がい児・孤児院・老人ホームへの訪問、児童の急性栄養失調の減少支援活動が見られる。「義捐活動」でも恵まれない子供へのクリスマスギフト、孤児への学用品の寄付、団体献血など幅広い。殊に将来性ある子供たちへの支援の多さにシマノの人や社会への思いやりと誠実さを感じる。

最終ページにチームシマノの社会活動方針を企業ミッションと共に3つの柱として提示した。かつては財務情報中心の企業評価だったが、近年は無形資産やESGなどの非財務情報を重視する方向になっている。本報告書からチームシマノが理念でまとり、地道に社会活動する姿が読み取れる。激変する環境でシマノがさらに進化する価値創造企業であることを期待したい。



チームシマノ社会活動方針

「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」という当社の使命にもとづき、チームシマノは「歓びの高揚」、「利用環境の改善と保全」、「企業市民としての信頼の構築」の3つを柱として、それぞれの社会活動方針にしたがって世界中で活動を推し進めてまいります。またシマノでは、自らの事業に近い分野での社会活動であること、そして地元への貢献としての社会活動であることを基本とし、身の丈にあった活動を地道に、継続的に行うことが大切であると考えています。

歓びの高揚

人々に楽しみと歓びを提供する文化活動

- ライフスタイルの提案…より豊かなサイクリングライフ、フィッシングライフを創出していただくための活動
- 学習施設…自転車の歴史やしぐみなど、さまざまな知識・情報を発信する施設の運営
- スポーツ振興…自転車、釣り、ロウイングの素晴らしさを体感していただくイベントの開催・協賛など

利用環境の改善と保全

活動フィールドの改善と保全

- 自然環境…清掃・植林など、自然環境を守り、育てる活動及び啓蒙活動
- 生活環境…騒音対策・省エネ・浄化など、周辺環境に配慮した施策、設備や活動
- 環境負荷の低い製品づくり…徹底した法の順守（シマノグリーンプラン（SGP））など、人と環境にやさしいものづくりの推進

信頼の構築

地域社会に企業市民として参加し協働する

- 教育支援…自転車の乗り方や交通ルールなど、安全に乗っていただくための支援活動
- 義捐活動…孤児院への寄付、障がい者支援、奨学金支援、献血など、企業市民としての活動
- 地元地域社会への貢献…自転車利用環境促進（インフラ整備への協力など）釣り環境促進（稚魚放流）など、地域社会との協働

SHIMANO

株式会社シマノ

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地

広報部 広報課

Phone : 072-223-3957

Fax : 072-223-6045